

調光について

- 調光範囲は5%～100%です。
- 調光用コントローラは、専用のものをご使用ください。
- 調光用コントローラによっては下限値で光がちらつくことがあります。下限設定可能な調光用コントローラをご使用ください。詳細についてはお問合せください。

保守とお手入れ

△ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。



- LEDランプユニットの寿命は、約 40,000時間です。
推定寿命はLEDの照度が初期値の70%に減退するのにかかる時間です。
寿命をこえても点灯し続けますが、十分な性能が得られませんので、あらたな器具の施工をおすすめいたします。

お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色・破損の原因となります。
汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇LEDユニット・反射鏡・トリムリングなどのお取扱の際には、両手で静かに行なってください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。感電するおそれがあります。
- ◇点灯中及び消灯直後のLEDユニット周辺に触らないでください。やけどをするおそれがあります。



愛情点検

お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。



アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

東京営業部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL(03)6741-2340(代表) ダヴィンチ桜橋6階
住宅・マンション部	〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目7番1号 TEL(03)6741-5810(代表)
札幌営業所	〒060-0906 北海道札幌市東区北六条東2丁目3番6号 TEL(011)742-1311(代表) 松崎ビル4階
仙台営業所	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2丁目1番61号 TEL(022)227-1251(代表) 第5タカノボルビル8階
横浜営業所	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6丁目89番1号 TEL(045)664-2871(代表) 尾上町スカイビル503
名古屋営業所	〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2丁目19番6号 TEL(052)238-4633(代表) グランスクエア新栄ビル5階

近畿営業部	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2丁目9番8号 TEL(06)6258-6721(代表) シマノ・住友生命ビル3階
金沢営業所	〒920-0901 石川県金沢市彦三町2丁目1番45号 TEL(076)222-6733(代表) 明治安田生命金沢第二ビル5階
高松営業所	〒760-542-00810062 香川県高松市塩上町3丁目8番11号 TEL(0878)39-3195(代表) クリエイトビル302
広島営業所	〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里1丁目1番68号 TEL(082)568-5371(代表) 広島パレスビル2階
福岡営業所	〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号 TEL(092)721-5661(代表) ORE福岡赤坂ビル7階
宇都宮出張所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷6丁目7番16号 TEL(028)638-1002 マスミートタルビル2階
静岡出張所	〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町7番6号 TEL(054)273-5305 ローズガーデン406

0411

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書 X-series LED DOWNLIGHT(調光タイプ) ADJUSTABLE

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださりまして誠にありがとうございます。この説明書をよくごらんの上、正しく取り付け、正しくご使用ください。お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

ご注意：電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

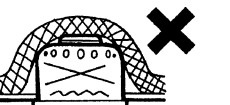
目次

- 1ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意，お願い
- 2ページ：定格表，各部のなまえと取付かた
- 3ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意，照射方向の調整方法
- 4ページ：調光について，保守とお手入れ，アフターサービスのお問い合わせ

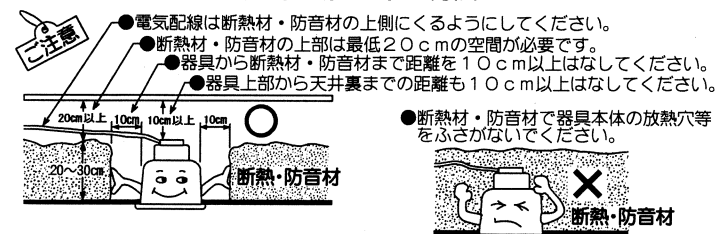
照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

△ 警告

!	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇電気工事は電気設備技術基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付けは、取付場所（天井）の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。
⚠	火災のおそれがあります ◇断熱材・防音材でおおわないでください。



断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法について



- ◇住宅の断熱施工された天井には使用できません。法律で禁じられています。
- ◇断熱材で覆わないでください。火災の原因になります。
- ◇住宅以外の建物に使用するとき、左図のように行って下さい。

△ 注意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- ◇断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
- ◇器具を改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- ◇天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付けおよび傾斜天井への取付けはしないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
- ◇表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇この器具は専用調光器にて調光が可能です。専用調光器以外には接続しないでください。火災の原因となります。
- ◇器具の使用環境温度は5～35℃、湿度85%以下の場所に設置してください。
誤って高温の所に設置しますと火災の原因となることがあります。

お願い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

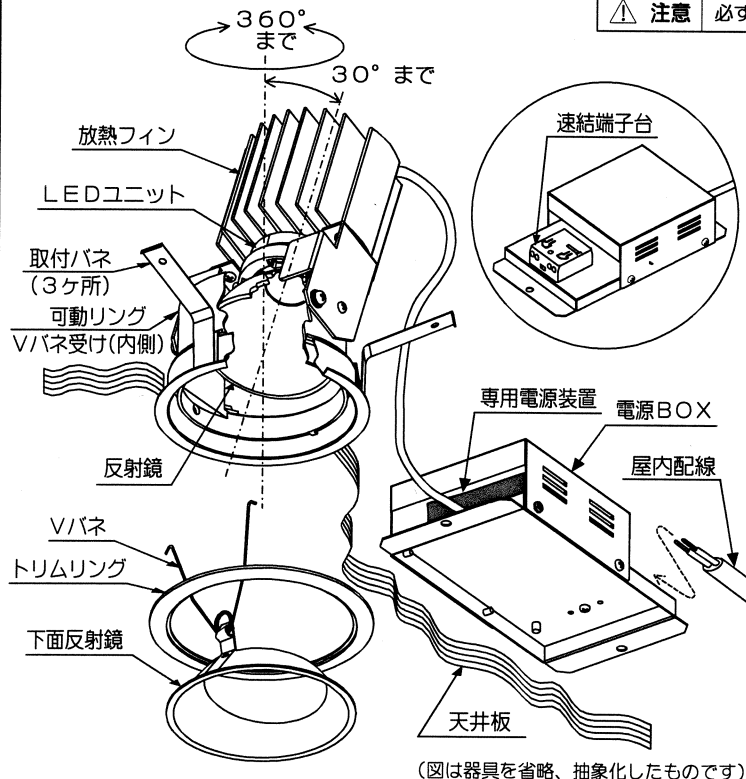
定格表

切込寸法 (単位mm)	器具タイプ	専用電源 入力定格	カタログ No.	型 番	配光	LED光源タイプ	器具寸法
100%	アジスタフル 1000lm	入力電圧 100V 入力電流 0.25A 周波数 50-60Hz	J-286N	60JJ-B9B2-1N	20°	高出力形 22W 白色タイプ	
			J-287N	60JJ-C1B0-1N	40°	高出力形 22W 白色タイプ	
			J-288N	60JJ-C2B8-1N	20°	高出力形 22W 電球色タイプ	
			J-289N	60JJ-C3B5-1N	40°	高出力形 22W 電球色タイプ	
			J-290N	60JJ-C4B2-1N	20°	高演色形 22W 白色タイプ	
			J-291N	60JJ-C5B1-1N	40°	高演色形 22W 白色タイプ	
	アジスタフル 1300lm	消費電力 25W	J-292N	60JJ-C6B7-1N	20°	高演色形 22W 電球色タイプ	
			J-293N	60JJ-C7B4-1N	40°	高演色形 22W 電球色タイプ	
			J-410N	60JJ-S1B2-1N	20°	高出力形 22W 白色タイプ	
			J-411N	60JJ-S2B1-1N	40°	高出力形 22W 白色タイプ	
			J-412N	60JJ-S3B7-1N	20°	高出力形 22W 電球色タイプ	
			J-413N	60JJ-S4B4-1N	40°	高出力形 22W 電球色タイプ	
質量	1.0kg		被照射面 限度距離	0.1m	材 質・仕 上	反射鏡:アルミ・電解研磨アルマイト仕上	

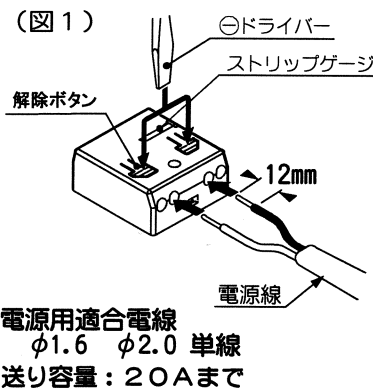
本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

各部のなまえと取付けかた

注意 必ず、電源が切つてあることを確認してから、作業を開始してください。



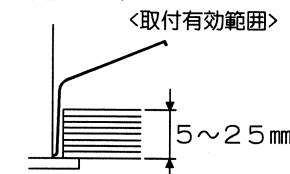
(図は器具を省略、抽象化したものです)



電源用適合電線
φ1.6 φ2.0 単線
送り容量:20Aまで

■電源用電線は、ストリップゲージに合わせ被覆をむいてください。
矢印の方向に、止まるまでぐっと差し込んだ後、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
外すときは、解除ボタンをドライバー等で押込んで外してください。

●取付ける場合
(図2-1)



取付有効範囲は、指定寸法までです。
取付前に確認してください。
不備がありますと、器具落下の原因となります。

1. 取付まへの確認をする
取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにします。
不備がありますと器具落下の原因となります。
また、取付工事を開始する前に、屋内配線への電源を必ず切っておいてください。
不備がありますと感電・不点灯・器具破損の原因となります。

2. 切込寸法(上記指定)に従って天井に丸穴をあける
切込寸法公差は、+2,-0mm としてください。
不備がありますと器具落下の原因となります。

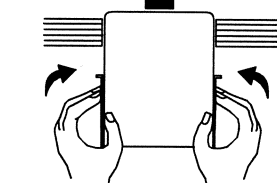
3. 屋内配線を端子台に接続する(図1)
屋内配線の被覆を端子台上のストリップゲージに従って(12mm)むいて、電源BOX上の速結端子台の差込穴に確実に差込みます。
端子台の送り容量を超えるなど、不備がありますと火災・感電・不点灯の原因となります。

4. 本体を取付ける(図2)
端子台固定バネ、本体の順に切込穴に入れ、3箇所の取付バネで確実に固定します。
不備がありますと器具落下の原因となります。

5. 照射方向の調整
電源を必ず切つてから、3ページの「照射方向の調整」に従い照射方向を設定してください。
なお、被照射物までの距離は、必ず0.5m以上あけてください。
不備がありますと火災・被照射物の変色・退色の原因となります。

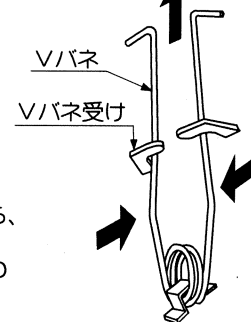
6. 下面反射鏡を取付ける
可動リングの内側にある「Vバネ受け」に反射鏡からのVバネの先端を掛け、トリムリングごと押し上げて取付けます。
不備がありますと器具落下の原因となります。

(図2-2)



取付バネを本体に合わせながら、天井にしっかりと固定します。
不備がありますと、器具落下の原因となります。

●下面反射鏡の固定
(図3)



照明器具ご使用についての安全上のご注意

警告

- 感電のおそれがあります**
◇器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。
- 感電・火災のおそれがあります**
◇異常時(煙が出たり、変な臭いがする時)には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。
- 感電・火災のおそれがあります**
◇器具及び部品の改造をしないでください。
◇器具のすきまに、異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。
- やけどのおそれがあります**
◇点灯中及び消灯直後のLEDユニットにさわらないでください。
- 火災のおそれがあります**
◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。
又揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。
◇断熱材・防音材でおおわないでください。

注意

- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に(6ヶ月に1回程度)清掃、点検してください。
器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。
- ◇3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。
- ◇照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
必ず点検・交換をしてください。点検せずに長時間使い続けると、感電・火災・発熱・性能劣化のおそれがあります。
(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯。JIS C8105-1解説による)
- 周囲温度が高い場合、連続点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- ◇反射鏡など部品の着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。
不備がありますと、落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。
不備がありますと、器具の変形や火災の原因となることがあります。
- ◇LEDの光色・明るさには若干の個体差があります。あらかじめご了承ください。
- ◇この器具のLEDユニットの交換は、修理扱いになります。
詳しくは、この器具をお求めの電気店・最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。
- ◇無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。火災・発熱・器具破損の原因になります。

照射方向の調整方法

1. トリムリングと下面反射鏡を外す。
 2. 照射方向を調整する。
 3. 照射角度を調整する。
1. トリムリングと下面反射鏡を引き降ろして、Vバネを外して取りはずします。下面反射鏡を外さず、無理にドライバーの先などで照射方向や角度を調整しようとすると下面反射鏡の縁を変形させてしまう場合がありますので、必ず外してから調整してください。
 2. 照射方向は、器具本体内部の可動リングに手をかけて回転させて、調整してください。このとき、あまり器具本体の奥のほうに手を入れますと手にケガをするおそれがあります。
また、照射方向より先に、「3」の照射角度を調整してしまうと、照射方向の回転がしにくくなる場合がありますので、必ず照射方向の調整を先にするようにしてください。
 3. 本体内部にドライバーなどを差し入れて、アーム部分の「角度調整用の折返し」を押して照射角度を調整します。このとき、器具内部の反射鏡に無理な力がかからないようご注意ください。反射鏡が外れたり、取付部分が歪んだりするおそれがあります。
 4. 調整が終わりましたら、「1」と逆の手順で、可動リングの内側にある「Vバネ受け」に反射鏡からのVバネの先端を掛け、トリムリングごと押し上げて取付けます。
- 作業に入るときは、必ず電源を切り、消灯から約10分間待ってから行ってください。
点灯中・消灯直後の器具内部、LEDユニット周辺は高温になっていますので、やけどには充分ご注意ください。
- 照射方向は器具内部、可動リングの内側に手をかけて回転させてください。
- 照射方向を調整する場合、360°以上は回転させませんので、無理に回転させないでください。
- 照射角度は30°まで傾斜します。先に照射角度を調整してしまうと、照射方向の回転がしにくい場合がありますので、ご注意ください。

注意 必ず電源を切つて行ってください。感電・やけどの原因になります。